

参考資料(2022年度 第1四半期)

- 連結
 - 1. (連結) 主要決算数値
 - 2. (連結) 主要連結子会社実績 <実績 対 前年同期>

- 個別
 - 3. (個別) 主要数値
 - 4. (個別) 料金スライドの収支への影響
 - 5. (個別) ガス粗利分析

- 前提
 - 6. (前提) 経済フレーム・収支影響感度

※2021年度実績の各数値については、会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、遡及適用後の数値を記載しています。

参考資料 (2022年度第1四半期)

1. (連結) 主要決算数値

	< 実績 対 前年同期 >				< 22年度見通し 対 21年度実績 >				< 22年度見通し 対 前回見通し >				(億円)	
	FY22 1Q	前年同期	増減	備考	FY22見通し	前年度	増減	備考	前回見通し	増減	備考			
売上高	6,099	4,011	2,088	52.0%	エネルギー・ソリューション+ネットワーク+2,645、海外+145、都市ビジネス+9 等	29,480	21,548	7,932	36.8%	エネルギー・ソリューション+7,319、海外+490、都市ビジネス+37 等	25,300	4,180	16.5%	エネルギー・ソリューション+3,870、海外+237 等
営業利益	512	181	331	182.5%	エネルギー・ソリューション+ネットワーク+220、海外+100、都市ビジネス▲2 等	1,400	1,274	126	9.9%	エネルギー・ソリューション+ネットワーク▲322、海外+269、都市ビジネス+4、セグメント変更に伴う全社費用減+175 等	1,400	0	-	エネルギー・ソリューション▲126、ネットワーク▲44、海外+160 等
経常利益	577	160	417	259.8%	為替差損益 等	1,270	1,363	▲93	▲6.9%	為替差損益 等	1,270	0	-	
親会社株主に帰属する当期純利益	384	104	280	267.0%		920	957	▲37	▲3.9%	[見通し]なし [前年度]投資有価証券売却益、固定資産売却益、減損損失、投資有価証券評価損、等	920	0	-	[見通し]なし [前回見通し]なし
総資産(*1)	33,811	32,415	1,396	4.3%	流動資産+813(現金及び預金+466、原材料及び貯蔵品+416 等)、 固定資産+583(投資その他の資産+522 等)	32,340	32,415	▲75	▲0.2%		30,860	1,480	4.8%	
自己資本(*1)	12,832	12,517	315	2.5%	当期純利益+384、配当金支払▲153 等	13,230	12,517	713	5.7%		12,670	560	4.4%	
自己資本比率(*1)	(%)	38.0%	38.6%	▲0.6%	資産の増加率(+4.3%)に対し、自己資本の増加率(+2.5%) が小さかったため下落	40.9%	38.6%	2.3%	-		41.1%	▲0.2%	-	
総資本回転率(*2)	(回転)	0.18	0.13	0.05	-	0.91	0.72	0.19	-		0.82	0.09	-	
ROA(*2)	(%)	-	-	-	-	2.8%	3.2%	▲0.4%	-		3.1%	▲0.3%	-	
ROE(*2)	(%)	-	-	-	-	7.1%	8.0%	▲0.9%	-		7.4%	▲0.3%	-	
有利子負債残高(*1)		13,269	12,205	1,064	8.7%	東京ガス+907	13,290	12,205	1,085	8.9%	13,290	0	-	
D/Eレシオ		-	-	-	-	1.00	0.98	0.02	-		1.05	▲0.05	-	
親会社株主に帰属する当期純利益		384	104	280	267.0%	920	957	▲37	▲3.9%	920	0	-		
減価償却(*3・4)		506	486	20	4.2%	2,020	2,009	11	0.5%	2,020	0	-		
営業キャッシュ・フロー(*5)		891	591	300	50.7%	2,940	2,966	▲26	▲0.9%	2,940	0	-		
設備投資(*3)		446	467	▲21	▲4.4%	2,670	2,072	598	28.8%	2,670	0	-		
投融資(相殺後)		43	50	▲7	▲13.7%	908	182	726	398.2%	918	▲10	▲1.2%		
WACC	(%)	-	-	-	-	2.2%	2.3%	▲0.1%	-		2.2%	0.0%	-	
1株当たり当期純利益	(円/株)	88.06	23.80	64.26	270.0%	親会社株主に帰属する当期純利益増(+280)により上昇	211.89	217.67	▲5.78	▲2.7%	211.69	0.20	0.1%	
1株当たり純資産(*1)	(円/株)	2,960.64	2,711.85	248.79	9.2%		3,052.40	2,847.88	204.52	7.2%	2,939.35	113.05	3.8%	
総還元性向(*6)		-	-	-	-	50%程度	46.6%(*7)	-	-		50%程度	-	-	

(*1)B/S項目の前年同期は、前期末(2022年3月末)数値を表示
 (*2)総資産・自己資本は期中平均値で算定
 (*3)設備投資・減価償却は内部取引相殺後
 (*4)減価償却には長期前払費用償却を含む
 (*5)営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書ではなく「親会社株主に帰属する当期純利益+減価償却」と定義した簡便法で算定
 (*6)n年度総還元性向=((n年度の年間配当金総額)+(n+1年度の自社株取得額))÷(n年度連結当期純利益)
 (*7)なお、遡及適用前(4月決算発表時点)の2021年度実績「親会社株主に帰属する当期純利益」にもとづく総還元性向は「50.2%」となっている

2. (連結) 主要連結子会社実績 <実績 対 前年同期>

セグメント	会社名	売上高				備考	営業利益				備考
		FY22 1Q	前年同期	増減			FY22 1Q	前年同期	増減		
エネルギー・ソリューション/他	東京ガス	5,480	3,580	1,900	53.1%		233	20	213	-	
エネルギー・ソリューション	東京ガスエンジニアリングソリューションズグループ(*)	438	361	77	21.3%	エネルギーサービスの売上単価増	24	19	5	29.3%	
海外	TGオーストラリアグループ(*)	228	87	141	162.5%	(TGゴゴン)販売単価増、販売数量増 (TGブルー)販売単価増	122	18	104	572.8%	売上増
海外	TGアメリカグループ(*)	122	120	2	2.1%		32	35	▲3	▲10.1%	
その他連結子会社		2,307	1,452	855	58.9%	ネットワーク事業分社化による増	87	102	▲15	▲14.3%	
連結子会社計		3,096	2,020	1,076	53.3%		266	175	91	52.1%	
連結合計		6,099	4,011	2,088	52.0%		512	181	331	182.5%	

(*)数値は連結消去前の各社単純合算

3. (個別) 主要数値

< 実績 対 前年同期 >

(億円)

	FY22 1Q	前年同期	増減		備考
ガス売上	3,074	1,989	1,085	54.5%	数量・料金構成差等+21、スライド差+1,064
ガス原材料費	1,878	1,084	794	73.2%	数量・原料構成差等+32、スライド差+762 (為替+191、油価+361 等)
ガス粗利	1,196	905	291	32.1%	数量・構成差等▲11、スライド差+302
諸給与(*)	105	148	▲43	▲28.9%	ネットワーク事業分社化による減少
諸経費(*)	956	612	344	56.1%	ネットワーク事業分社化による託送費用計上 等
減価償却費(*)	84	331	▲247	▲74.4%	ネットワーク事業分社化による減少

< 22年度見通し 対 21年度実績 >

(億円)

	FY22見通し	前年度	増減		備考
ガス売上	14,255	10,831	3,424	31.6%	数量・料金構成差等▲346、スライド差+3,770
ガス原材料費	9,853	6,482	3,371	52.0%	数量・原料構成差等▲250、スライド差+3,621 (為替+831、油価+2,260 等)
ガス粗利	4,402	4,349	53	1.2%	数量・構成差等▲96、スライド差+149
諸給与(*)	379	625	▲246	▲39.4%	ネットワーク事業分社化による減少
諸経費(*)	3,804	2,634	1,170	44.4%	ネットワーク事業分社化による託送費用計上 等
減価償却費(*)	349	1,374	▲1,025	▲74.6%	ネットワーク事業分社化による減少

< 22年度見通し 対 前回見通し >

(億円)

	FY22見通し	前回見通し	増減		備考
ガス売上	14,255	12,023	2,232	18.6%	数量・料金構成差等+162、スライド差+2,070
ガス原材料費	9,853	7,620	2,233	29.3%	数量・原料構成差等+99、スライド差+2,134 (為替+467、油価+1,293 等)
ガス粗利	4,402	4,403	▲1	-	数量・構成差等+63、スライド差▲64
諸給与(*)	379	379	0	-	
諸経費(*)	3,804	3,696	108	2.9%	収益認識基準適用による託送費用の増加(連結上消去) 等
減価償却費(*)	349	349	0	-	

(*)FY22 1Qと見通しは、ネットワーク事業分社化後の数値を表示している

4. (個別) 料金スライドの収支への影響

< 実績 対 前年同期 >

(億円)

	FY22 1Q	前年同期	増減	
料金スライドの収支への影響(*)				
料金によるスライド回収	805	▲259	1,064	
原料費の増加分	614	▲148	762	
差し引き	191	▲111	302	

< 22年度見通し 対 21年度実績 >

(億円)

	FY22見通し	FY21	増減	
料金スライドの収支への影響(*)				
料金によるスライド回収	4,189	419	3,770	
原料費の増加分	4,029	408	3,621	
差し引き	160	11	149	

< 22年度見通し 対 前回見通し >

(億円)

	FY22見通し	前回見通し	増減	
料金スライドの収支への影響(*)				
料金によるスライド回収	4,189	2,119	2,070	
原料費の増加分	4,029	1,895	2,134	
差し引き	160	224	▲64	

*金額は基準価格に対する増減額

5. (個別) ガス粗利分析

(億円)

	増減(FY22 1Q 対 前年同期)					増減(22年度見通し 対 21年度実績)					増減(22年度見通し 対 前回見通し)				
	数量差等	(内訳)		単価差	合計	数量差等	(内訳)		単価差	合計	数量差等	(内訳)		単価差	合計
ガス売上	21	気温影響 48 その他 ▲27	1,064	1,085	▲346	34 ▲380	3,770	3,424	162	▲9 171	2,070	2,070 0	2,232		
ガス原材料費	32	気温影響 22 その他 10	762	794	▲250	15 3,621 ▲265	3,621	3,371	99	▲5 2,134	2,134 1,293 467	2,233			
ガス粗利	▲11	気温影響 26 その他 ▲37	302	291	▲96	19 ▲115	149	53	63	▲4 ▲64	▲64 0	▲1			

6. (前提) 経済フレーム・収支影響感度

(1) 経済フレーム (連結・個別 共通)

		FY22 実績		FY22 見通し	
		1Q	2~4Q	1Q	年度
FY22 見通し (2022年7月27日発表)	原油価格 (\$/bbl)	110.80	110.00	110.00	110.20
	為替レート (円/\$)	129.73	125.00	125.00	126.18
		当初見通し			
		1Q	2~4Q	年度	
FY22 当初見通し (2022年4月27日発表)	原油価格 (\$/bbl)	85.00			
	為替レート (円/\$)	120.00			

(2) 都市ガス粗利影響感度 (個別)

■ 油価: 1\$/bbl 上昇した場合のガス粗利影響額 (億円)

	2Q	3Q	4Q	年度
売上高	17	5	0	22
原料	15	17	1	33
粗利	2	▲12	▲1	▲11

■ 為替: 1円/\$円安になった場合のガス粗利影響額 (億円)

	2Q	3Q	4Q	年度
売上高	20	20	4	44
原料	16	18	18	52
粗利	4	2	▲14	▲8

<見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替相場、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。